

## 琵琶湖博物館リニューアルについて(第1期～第3期)

### 1 リニューアルの概要

	第1期 リニューアル	第2期 リニューアル	第3期 リニューアル
全体事業規模 約29億円	約15.1億円	約6.4億円	約7.5億円
リニューアル 内容	・C展示室 ・水族展示室	・交流空間 (おとなのディスカバリー、 ディスカバリールーム、レスト ラン、ショップ、樹冠トレイル、 旧UNEP施設)	・A展示室 ・B展示室

平成24年度	「新琵琶湖博物館創造ビジョン」の策定		
平成25年度	「新琵琶湖博物館創造基本計画」の策定		
平成26年度	設 計		
平成27年度	施 工		
平成28年度	施工・オープン	設 計	
平成29年度		施 工	
平成30年度		施工・オープン	設 計
令和元年度			施 工
令和2年度			施工・オープン 目標来館者数 59万人

### 2 来館者数

#### (1) 直近10年間の状況

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
来館者数(人)	388,040	360,736	371,505	363,053	368,210
年度	※ 平成26年度	平成27年度	① 平成28年度	平成29年度	② 平成30年度
来館者数(人)	358,871	341,599	461,493	415,897	473,014

- ①平成28年度(第1期リニューアルオープン)  
461,493人(※平成26年度比 102,622人増、28.6%増)
- ②平成30年度(第2期リニューアルオープン)  
473,014人(※平成26年度比 114,143人増、31.8%増)

#### (2) 令和元年度の状況

- 5月末時点 94,887人(平成26年度同期間比 33,435人増、54.4%増)  
※GW期間(4/27～5/6)  
43,885人(平成26年度同期間比 22,060人増、101.1%増)

### 3 これまでのリニューアルによる成果

#### (1) 来館者の増加

リニューアルにより、来館者数が増加した。(リニューアル前の平成 26 年度と比較では、平成 30 年度の来館者数が 11.4 万人増、31.8%増)

#### (2) 常設展示の再構築

親子で楽しめる体験型展示、五感で理解する体感型展示、多くの実物資料による展示など、来館者がそれぞれに合った活用や楽しみ方ができる展示となるとともに、外来生物の移入や鳥獣害の深刻化などの新たな環境課題に対応する学びや情報発信の場が構築された。(平成 30 年度の来館者アンケートにおいて、リニューアル展示に「非常に満足」と「満足」の回答が約 80%)

#### (3) 交流空間の再構築

「別館」の整備により、学校団体等が利用する昼食場所の事前予約が可能となり、利便性が向上(平成 30 年度利用実績: 110 団体、6,716 人)するとともに、「おとなのディスカバリー」の整備などにより、来館者の交流の機会が増加した。また、「樹冠トレイル」の整備により、屋外展示や琵琶湖岸への人の流れができた。(平成 30 年 11 月 3 日のオープン以降、来館者の約半数が利用)

### 4 今後の取組の方向性

#### (1) 新たな計画の策定

新琵琶湖博物館創造基本計画に基づき、これまでリニューアルを進めてきたが、リニューアル後はこれからの事業展開や方針、研究推進を始め、地域や企業・団体等多様な主体との連携や広報営業活動を盛り込んだ新たな計画を策定する。

#### (2) 来館者確保に向けた取組

##### ① 広報事業の展開

従来のファミリー層に向けては切れ目のない広報活動を実施するとともに、専門的な知識を活用し新たな大人の層に向けた取組を展開する。

- ・ 県内および京阪神を対象とした広報メディア戦略
- ・ パブリシティの活用や SNS 等による情報発信
- ・ 団体旅行・教育旅行の誘引や観光宿泊施設との連携
- ・ 琵琶湖博物館固有の魅力や資源を活かした新たな話題づくり

##### ② 公共交通アクセスの向上

バス等の公共交通機関での来館者に対する利便性を向上させ、来館者増につなげるため、草津市や関係団体、交通会社等との連携を一層図り、取組を推進していく。

- ・ 夏期における路線バスの増便やバス利用の PR
- ・ 入館券と路線バス乗車券とがセットになった割引チケットの販売(調整中)